



松木商事株式会社様

豆類を中心とした穀物の総合商社。近年は、不動産賃貸、貸ビル（貸テナント・貸オフィス）など事業多角化を推進されています。

導入事例 ターコイズ販売管理 V5 クラウド

紙が当たり前だった販売管理業務を、ムリなくデジタル化する方法とは？

長らく手書きによる業務に慣れ、請求書の発行以外は全て「紙文化」。経営体制の若返りをきっかけに、販売管理の業務改革に着手。変化に伴う社員への負担を考慮しつつ、運用定着が進むよう3ステップで導入。原価意識の醸成にも成功した事例をご紹介します。

取材協力

部長 鷹栖実様、竹部智恵様

導入事例
完全版を見る



課題

- ・「紙文化が当たり前」からの脱却
- ・正確な在庫量・原価の把握
- ・担当任せにしない販売・仕入業務

効果

- ・正確な情報照会により、顧客対応スピードUP
- ・発注量を最適化、不良在庫を削減
- ・集計が1週間→30分、利益率もUP

て探していました。ようやく見つけても、手書きの癖字で数字が読めないことが。

在庫管理は、はっきり言って大袋単位のどんぶり勘定。例えば商品30kg入袋で仕入れ、小分け販売すると、余りは端数



扱い。また、小分け時に汚れがあるものを取り除きますが、廃棄量は管理せず。

仕入は前年の販売実績をもとに一括発注、紙の記録を拾いながら電卓を叩くので、数字の読み間違いや計算間違いが原因で在庫過多・過少が発生。仕入量の決定にも1週間程かかり、大変苦労していました。

それでも「手書きの方が早い」が当時の感覚。「慣れ」はおそろしいですね。

採用の決め手を教えてください

HCSさんに対する信頼が決め手でした。直近だとインボイスや電帳法対応など、困り事にはすぐに相談に乗ってくれ親切丁寧、他の選択肢は考えられませんでした。

工夫・苦労した点を教えてください

在庫を正確に把握するための運用を、どのようにすべきか非常に悩みました。この

点もHCSさんに相談し、当社が望む現実的な運用とシステムをセットで形にしてもらいました。例えば、大袋はもちろん、重量による把握も実現。商品小分け後の端数・廃棄量も今では一目瞭然です。

定着までには苦労もありましたが、竹部さんが率先して順次活用、周りの社員を巻き込んでくれ乗り切ることができました。

効果はいかがですか？

お客様対応スピードが格段に早くなりました。問い合わせから、即決いただくご注文が増えた手ごたえがあります。販売実績を各自が把握できるようになり、原価意識が生まれたのか、社員同士で議論する場面も増えました。

過去の販売実績や在庫データに基づき仕入量も決定。余剰在庫を値引き販売する場面も減り、利益は確実に増えています。

今後の取り組みや展望を教えてください

若い経営体制で今後の業容拡大を見据える中、ITを取り組み達成の有効な手段と捉え、引き続き使いどころを考えたいです。

一検討のきっかけを教えてください

事業継承を進め、新たな経営体制となったことです。3年前には本社を新築移転。心機一転の気持ちでしたが社内にも目を向けると、紙と手書きに頼った煩雑な業務が変わらず残ったまま。事業領域の拡大にも力を注ぐ今、時代とのギャップを改めて強く感じました。反対意見もあったなか、「紙文化」からの脱却は急務と捉えました。

一どのような課題をお持ちでしたか？

在庫管理のための入出庫記録や会計帳簿、給与明細に至るまで、全てが手書きという昭和スタイルでした。

一番の悩みはお客様からの問い合わせ対応。過去の見積りや取引に関する質問をいただくと、見積書2、3年分をひっくり返し

創業明治元年～おかげさまで150年～

松木商事株式会社

〒930-0044

富山県富山市中央通り3丁目1-3

TEL 076-421-2282

EVENT 出展報告

e-messe kanazawa 2024

5月16日(木)~18(土)、3日間あわせて**509**名の方々にHCSブースへお越しいただき、誠にありがとうございました！今回は「AI」をテーマに、3つの技術をご紹介します。弊社独自アンケートによると、北陸企業においても「生成AI」への関心度は高く、「データ分析」に関して期待する声が多い結果に。弊社では、生成AIの利用を後押しする、「セキュアな法人向けAIチャットサービス」を提供しております。詳細は、弊社営業までお問い合わせください。



ChatGPT

AI アバター
アシスタント

顔認識 AI

HCSソリューションフェア2024でも 「先進技術」を体験できます！

開催日

2024

6.12
WED.

当社社員が発案した**オリジナルアバター**を、HCSフェアで初お披露目！ご来場の皆様をお出迎えいたします。フェア当日は、ぜひ「AIアバター」に話しかけてみてください。例えば、「自己紹介して！」「おすすめの休日の過ごし方は？」「HCSフェアとは？」など、雑談から問い合わせまでの会話をAIアバターと楽しめます。

他にも、**セキュアな「chatGPT」の体験**や、「**顔認識AI技術**」を**ゲーム感覚で体験**できる企画も実施！ぜひご参加ください。

HCSフェアの事前申込は、以下サイトから。当日、入場証のご持参でスムーズに入場可能です。皆さまのお越しを心からお待ちしております。

事前申込をしてみる >



HCSのよこが

S I ビジネス本部
I T イノベーション部そふく まさと
曾福大翔 さん

今後もお客さま視点を大切に、課題解決のお力になれるよう努力を続けていきたいです。

Q. 業務内容を教えてください。

大手IT企業の社内システムのポータルサイト構築に携わっています。

昨年は入社したばかりで、担当システムを理解するのに精一杯でしたが、上司や先輩社員の指導のおかげで、今では課題に対する解決策をお客さまにご提案できるようになりました。

昨年10月、初めてプロジェクトの中心として設計・開発・テストの流れを一人で完遂しました。お客さまの求める機能や使い勝手を正確に把握することで、期待通りのシステム構築を実現できました。不安や困難も多くとても大変でしたが、成し遂げた時の達成感は非常に大きく、良い経験となりました。

Q. 趣味を教えてください。

旅行が趣味です。先月は2泊3日で関西旅行を満喫しました。

伏見稲荷大社内での稲荷山に登り、頂上で参拝。自然を感じ、心が安らぎました。次の旅行は、行ったことのない九州や沖縄方面に行ってみたいです。



↑伏見稲荷大社でのベストショット。

編集後記

第17回HCSソリューションフェア2024の開催が間近に迫ってきました。前回の2019年以来、5年ぶりの開催となる今回は「AIとあたらしいソリューションで描くビジネス変革」がテーマ。展示会場中央では生成AIなど先進技術を用いたソリューションをご紹介します。実際にご体感いただけます。さらに出展各社様や弊社の旬なソリューションを展示。豪華講師による基調講演もございます。

お申し込みの締め切りは6月11日(火)、弊社ホームページの特設サイトにて受付中です。弊社社員一同、皆様のご来場をお待ちしております。(やまだ)

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら→



全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/

※"Image: Freepik.com" イラストの一部は Freepik.com のリソースを使用してデザインされています。

本ニュースレターに記載の情報はすべて編集時点のものです。情報の内容やURLなどが変更されている場合があります。予めご了承ください。また、本文中の商品名・会社名は各社の商標または登録商標です。